

【普通作物】の【長雨・日照不足】対策について

<11月>

農業経営支援課

【普通期水稻】（成熟期）

（1）予想される被害状況

- ① 穂発芽が発生しやすくなる。
- ② 土壌が柔らかい場合、収穫作業が困難となる。
- ③ 収穫時の籾水分が高くと、コンバインのこぎ胴での損傷が生じやすい。
- ④ 水分の高い籾を、急激に高温で乾燥すると玄米の品質低下が生じやすい。

（2）事前対策

- ① 穂発芽の多い箇所は刈分けして、全体の品質が低下するのを防ぐ。
- ② 収穫作業に向けて排水に努め、できるだけ土壌を固める。
- ③ 高水分の籾をコンバインで収穫する際は、こぎ胴の回転数を調整する。
- ④ 高水分の籾を、火力乾燥する場合は通風を十分に行い徐々に温度を上げる。

（3）事後対策

- ① 穂発芽が多発した場合は、刈り分けし品質低下を防ぐ。

【大豆】（落葉期～成熟期）

（1）予想される被害状況

- ① 収穫作業が遅れたり、株や子実の腐敗等が発生する。
- ② 土壌が柔らかい場合、収穫作業が困難となる。

（2）事前対策

- ① ほ場周囲及び畦間に排水溝を設置する。
- ② 被害株の多い所は刈り分けして収穫する。

（3）事後対策

- ① 成熟期にある場合は、天候をみて速やかに収穫する。
- ② 収穫後、被害粒は選別機等によりできるだけ取り除く。

【秋ソバ】（収穫期）

（１）予想される被害状況

- ① 子実の穂発芽や腐敗等が発生する。
- ② 土壌が柔らかい場合、収穫作業が困難となる。

（２）事前対策

- ① ほ場周囲及び畦間に排水溝を設置する。
- ② 被害株の多い所は区分けして収穫する。

（３）事後対策

- ① 収穫後に被害粒は調整し取り除く。

【ムギ】（播種期）

（１）予想される被害状況

- ① 播種作業の遅れや発芽不良となる。

（２）事前対策

- ① ほ場周囲及び畦間に排水溝を設置する。
- ② 播種時期の遅れに応じて、播種量を多くする。

（３）事後対策

- ① 欠株が多い場合は、速やかに播き直しを行う。